

STAFF & CAST

オーバード・ホール 中ホール開館記念



作・演出	タニノクロウ
出演	島田桃依、坂井初音、瀬戸ゆりか 日向みさき、松本愛、橋本瑞穂、広浜巳央、ニシムラヤスコ、金澤一彦、西島秀樹、中尾植一、阿閉三興
声の出演	犬神小次郎、西島秀樹
美術	福田美智子
照明	吉田仁美(オーバード・ホール)
音響・映像	曾根朗(オーバード・ホール)
演出助手	柿本弘一、木本千晴
演出部	浦田貴子
舞台監督	北野靖彦(オーバード・ホール)
美術製作指導	福田美智子、鈴木太朗、三井優子
美術製作リーダー	内山勇
美術製作	「ニューマドンナ」美術スタッフ 安宅陽果、荒木悠那、池田育代、石井裕太、太田みよ子、大辻典子、大野航、岡林瑞穂、川合亜実、後藤春香、児安俊重、 崎田雅俊、嶋倉由佳、新藤さちこ、鈴木尚二、谷井政夫、谷口実香、中沼喜子、中村祐美子、丹羽仁美、針山真奈美、廣瀬絵美、 正木清実、舛田朋美、松浦晴香、松本音乃、宮原政二、八木悠、山本薫、吉田正一、若林かつら、脇山由香
映像制作	Digital Atelier 夏灯工房
コスプレアドバイザー	87かぼちゃ
VTuber Live 2D モデル制作	三ツ川ミツ
劇中使用ゲームソフト	『地球防衛軍6』(C)2022 SANDLOT (C)2022 D3PUBLISHER
舞台操作	オーバード・ホール舞台技術課
照明操作	吉田一(セットアップ)、オーバード・ホール舞台技術課、セットアップ
音響操作	家城隆一郎(オーバード・ホール)、長谷川貴之(サウンドクリエイティブ)
大道具設営	金沢舞台、「ニューマドンナ」美術スタッフ
小道具	高津装飾美術、「ニューマドンナ」キャスト・スタッフ、地域の皆さん
運搬	マイド、大東運輸
関連企画	カンバーニュ 野口屋 Bar&Kitchen Towser KOREAN KITCHEN TEJIKAEIN 富山ステーションシティ 富山経済同友会 志貴野苑 一般社団法人 富山県社会就労センター協議会
協力	庭劇団ベニノ、アルシュ、ダックスープ、青年団
Special Thanks	成井昭人、緒方晋、金子清文、グレース・ラング、塩谷陽子、Daniel Jeanneteau、東芋、 手塚とおる、徳永京子、長塚圭史、中井美穂、野村政之、平田オリザ、宮城聡、山内マリコ、王嘉明 山本武良、布一酒店、大衆酒場「親爺」、スナック「やまと」、マンテンホテル、中垣弘、 呉羽姫本町内会の皆様、大政木材、木本加代子、木本凌大、難波零号
広報アートディレクション	橋本利久、山本あゆみ (Rikyu Design)
広報	石井裕太、福岡美奈子(オーバード・ホール)、森田翠(オーバード・ホール)
制作	税光華(オーバード・ホール)、森田翠(オーバード・ホール)
票券	船本梨佐(オーバード・ホール)
プロデューサー	福岡美奈子(オーバード・ホール)
芸術監督	須藤晃
主催・企画制作	オーバード・ホール(公財)富山市民文化事業団

KURO TANINO
× ALL TOYAMA 3rd stage
NEW MADONNA



三度目の「オーバード・ホール」「オール富山」と舞台を作ることが出来て、
とても幸せに思います。

スタッフ、キャストの皆様、ありがとうございました。

私は何気ない日常を戯曲にしました。

しかし、このチームでしか出来ないリアリティの追求、

妥協のない作り込みによって、そのささやかな日常がドラマに変わりました。

そして、日常に転がっている弱々しくも愛らしい瞬間の数々を、

見過ごすことのできない大切なものだと思わせてくれました。

本日はご来場ありがとうございました。

ここは皆様の劇場です。

タニノクロウ

Kuro Tanino

1976年富山県出身。庭劇団ペニノの主宰、座付き劇作・演出家。セゾン文化財団シニアフェロー(2015年まで)。2000年医学部在学中に庭劇団ペニノを旗揚げ。以降全作品の脚本・演出を手掛ける。ヨーロッパを中心に、国内外の主要な演劇祭に多数招聘。2016年「地獄谷温泉 無明ノ宿」にて第60回岸田國士戯曲賞受賞。2016年北日本新聞芸術選奨受賞、第71回文化庁芸術祭優秀賞受賞。2017年ドイツ人美術家カスパー・ビヒナーとMプロジェクトを立ち上げ、国内外で作品を発表している。2019年第36回とやま賞文化・芸術部門受賞。2021年よりフランス ジュヌピリエ劇場「アソシエイト・アーティスト」、2022年7月より富山市政策参与に就任。



オーバード・ホール 中ホール開館記念
AUBADE HALL Produce
タニノクロウ × オール富山 3rd stage

『ニューマドンナ』

2024年1月25日(木)～28日(日) 全5回公演

会場：オーバード・ホール 中ホール

主催：(公財)富山市民文化事業団、富山市
共催：北日本新聞社
後援：北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま

AUBADE HALL Produce

タニノクロウ × オール富山 3rd stage



劇作家で演出家のタニノクロウさんをお迎えして、富山ゆかりの人達とつくりあげる「オール富山」プロジェクトも今年で3回目となりました。今回、タニノさんには「オール富山」のために新作を書き下ろしていただきました。新作は、幅広い世代の方に演劇や劇場へ足を運んでいただく工夫がされており、ご自身の故郷である富山への深い愛情を感じます。

「オール富山」プロジェクトは、出演、美術製作、演出部、必要品や小道具提供など、地域の皆さんから沢山のお力を頂いています。回を重ねるたびに、関わってくださる方たちの想いが積もっていくのを感じています。今回はより地域との結びつきを深めようと、企画制作・舞台・照明・音響・映像のすべてを劇場職員が担当し、「オールオーバード」で創作することに挑戦しました。

タニノさんと劇場と市民の協働クリエイションで生まれた、新作「ニューマドンナ」。変化の激しい時代にも、ささやかな日常の喜びと、力強く生きる人たちの姿が描かれています。作品同様、オーバード・ホールも富山の皆様の日常に寄り添える存在でありたいと思っております。

本日はご来場、誠にありがとうございます。どうぞごゆっくりご鑑賞ください。
最後に本公演の実現のためにご尽力いただきました全ての関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

ママ：桃子
島田桃依
Momoi Shimada

富山に2ヶ月滞在してキャストの皆さんといっぱい稽古して、スタッフの方々とも交流できて、とても豊かな時間を過ごすことが出来ました。胸がいっぱいです。こんなに懐の広い企画はオール富山だけ。好きながやちゃ！



俳優／青年団所属。1982年3月3日生まれ。栃木県出身。2004年に庭劇団ヘニノの公演で初舞台を踏む。2010年より青年団に入団、劇団員として活動中。また、舞台のみならず幅広く活動。近年の主な出演作に、TV「あいつが上手で下手が僕で」、「シガテラ」、「家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった」、映画、「鈴木家の嘘」、「エキストロ」、「大部!」、「MONDAYS」、「探偵マリコの生涯で一番悲惨な日」、舞台「蛸入道 忘却ノ儀」、「石橋けいのあたしに触らないで!」、「虹む街」、「コントロールオフィサー」、「地上の骨」など。

チーママ：琴音
坂井初音
Hatsune Sakai

色々な状況の中、本日はご来場頂きありがとうございます。オール富山に参加出来たこと、とても光栄です。細かなタイミングや雰囲気をつ綿密に作り、この企画とメンバーでしかできない作品ができました。舞台の隅々まで目を凝らして楽しんでいただけると嬉しいです。

俳優。1991年3月17日生まれ。兵庫県出身。近畿大学芸術学科舞台芸術専攻卒業。2013年タニノが大阪で開催したWSの参加をきっかけに俳優活動を始める。以降、庭劇団ヘニノ「ダークマスター」、「笑顔の砦」、タニノクロウ秘密倶楽部「MARZO VR」に出演。他に維新派や下鴨車窓などの劇団にも参加、関西を中心に活動中。猫と大仏鑑賞が好き。



ユカ
瀬戸ゆりか
Yurika Seto

本日はご来場いただきありがとうございます。大好きな故郷富山で、富山の方たちと共に作り上げた作品をお届けできたことが、どれほど今後の自分の励みになるだろうと思います。心痛ましい年明けで始まった2024年ですが、この作品が皆さまにとって少しでも新年の灯火になるよう願っています。

俳優／青年団所属。1993年6月14日生まれ。富山県出身。劇団俳優座演劇研究所を退所後、東京の小劇場を中心に活動。2021年平田オリザ率いる青年団に入団。近年の出演作は、青年団「S高原から」、2022年豊岡演劇祭/利賀村SCOTサマーシーズン「新ハムレット」等。オール富山企画には2019年の第1弾「ダークマスター 2019 TOYAMA」(成美役)以来2度目の参加となる。



CAST

常連客：愛果
日向みさき
Misaki Hinata



人物の人間臭さに共感したり、左右でふとした共通点を見つけたり、どこか富山を思わせる節があったり、それでいて斬新な構成で、色々な発見があるかと思います！最後までぜひじっくりお楽しみ下さい！

富山市出身。アイドル。「あなたの心のお薬になればいいなあ」というキャッチコピーの元、歌で人々の心を癒すためライブ活動を始める。プロデュース、作詞、制作等全て自身で行い北陸を中心に活動中。舞台演劇は今回初挑戦となる。

常連客：みゆ
松本愛
Ai Matsumoto



タニノさんの新作で初舞台を踏める幸せを噛み締めて稽古をしてきました。とある雪深い街で人間味の溢れる登場人物達の織りなす日常と舞台上に散りばめられたこだわりの演出の数々。是非隅々までお楽しみください！

魚津市出身。株式会社アドバンス社所属のモデル・タレント・役者。北陸を中心にテレビ番組のレギュラー出演をはじめCM・広告・ショーのモデルやドラマ出演などマルチに活動中。十一十一 (toittoi)メンバーとして2022年より毎月Instagramでショートドラマ配信も行っている。

あらすじ

小さな町の歓楽街にあるスナック「マドンナ」は、ママの桃子とチーママの琴音を募って常連客たちで賑わう。

一方、その街の片隅にあるアパートでは、ライブ配信サービスで生きる女性 ユカが暮らしている。

異なる二つの空間から描き出す、現代を生きる女性たちの物語。

繰り返される毎日は永遠なのか、それとも…。

ユカの彼氏 1・波平(声)
西島秀樹
Hideki Nishijima



ご来場ありがとうございます。さまざまな人間模様をお楽しみ頂ければ幸いです。どの場面、どのシーン、どのセリフ、どの言葉、どの仕草でも共感してくださると嬉しいです。

富山市出身。金沢市の劇団 表現集団tone!tone!tone!所属。近年では「12人の怒れる男」、「ら抜きの殺意」に出演。そのほか富山にて多方面に活動中。

ユカの彼氏 2 (ダブルキャスト)
中尾槇一
Shinichi Nakao



今回は完全新作&女性メインなのでタニノ作品をよくご存知の方でも全く気の抜けない作りになっております。ほんわかした空気の中、たくさん共感出来るものが見つかると思います。僕も色々共感しつつも反省させられています(笑)。

1982年生まれ。富山市出身。フリーで活動。オール富山第2弾「笑顔の砦'20 帰郷」にて田中優希役として出演。その他、劇団 血バンド、企画演劇集団 び〜めんぶろじえくとをはじめ、地元富山の劇団に客演にて多数出演。

常連客：久美子
橋本瑞穂
Mizuho Hashimoto



本日はご来場頂きありがとうございます。災害から始まった今年。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。やりたい事が存分に出来る事がどれほど幸せな事かを噛み締めながら、今回の舞台に立とうと思います。

富山市出身。4歳より民謡民舞を習い全国大会にも出場。アマチュア劇団「碧鳥」へ入団を機に様々な演劇の舞台に立つ。現在は主に、企画演劇集団 び〜めんぶろじえくととの公演に参加。ミュージカル「遙かなる山、そして彼方へ」に出演。コンドルズやタバマ企画のダンス公演に地元ダンサーとして参加。中ホール開館記念「come come THEATER!」にも出演。

常連客：茜
広浜巳央
Miou Hirohama



先日の地震で被災された方々へ御見舞い申し上げます。私にとっては初めての大きな挑戦でした。初めてのことなので紆余曲折しながら、キャストやスタッフの皆様にご助けをもらいながら、何とか今に辿り着くことができました。演じるキャストはもちろん、美術、音響、映像など数えきれないスタッフが一丸となり、舞台「ニューマドンナ」が、オープンすることとなりました。皆様ニューマドンナへ、遊びに立寄って下さいね。

富山市出身。魚津市在住。初舞台。趣味はスーパー巡りと相撲観戦。この企画に参加できるというチャンスが訪れ、初めは迷っていたが娘の後押しもあり参加を決意。

常連客：瀧子
ニシムラヤスコ
Yasuko Nishimura



天候の荒れる季節に足を運んでくださり、有難うございます。今回、演者として興味深かったのが、「ここは、どうしたらいいかな。何かアイデアありますか?」の一言でした。でもタニノさんのインスピレーションには誰も太刀打ち出来ませんでした。跳んでいるのです(笑)。どうか本日のお客様、劇中、何が飛び出すのか〜不思議な感覚を最後までお楽しみください。

入善町出身。進学を期に東京に20年、モダンダンスの道へ進む。1991年に入善に戻り、スタジオ330を開設。2013年に大人舞踊集団ダンスFa.レゾナンス結成。ほとり座、市民プラザにてライブを開催。現在に至る。

常連客：茂
金澤一彦
Kazuhiko Kanazawa



この店に通って2ヶ月程…常連になり始め、ママとチーママそしていつものお客さんと楽しくゆる〜い繋がりを持つ事ができたと思います。懐かしい雰囲気の店内、心地よい音、灯り…そんなスナック『マドンナ』に今日はご来店、ありがとうございます♪

東京都出身。富山市在住。2013年より所属している劇団 血バンドを演劇活動の中心とし、年2本程のペースでオリジナル作品に出演。演じる際、安定感や安心感などには疑問を持つ様に心掛けている。その他、KNBラジオドラマ「タイムカプセルとおじいちゃん秘密」映画「僕の町はお風呂が熱くて埋藏金が出てラーメンが美味しい」などに出演。

ユカの彼氏 2 (ダブルキャスト)
阿閉三興
Mitsuoki Atoji



来場いただき、ありがとうございます。今年初観劇の方も多いかと思います。皆様の新しい一年の良きスタートになりますように。

富山市出身。演劇集団 富山舞台所属。舞台演劇公演を年に二回開催するほか、八尾町を中心に朗読劇公演を毎月第二土曜日に開催(冬期除く)。その他、近年は学校にも呼ばれ、朗読劇や公演も行う。

ゆず丸(声)
犬神小次郎
Kojiro Inugami



御来場頂きありがとうございます。フィクションではありますが、御覧頂く皆様にも何か思い当たるシーンがあると思います。各々の登場人物の「いつだって、新しくなれる」を是非作中で見付けてみて下さい。

1984年生まれ。兵庫県出身。富山市在住。2022年より富山市速星を拠点とする劇団みろく座に所属。オール富山第2弾「笑顔の砦'20帰郷」では美術スタッフとして参加。国内外のマラソン大会に仮装して参加する、自称「走る役者」。

舞台美術製作



素人の市民が創り上げる緻密な舞台美術

本プロジェクトの大きな特徴ともいえるのが、公募スタッフによる舞台美術製作。素人が創り上げたとは思えない精巧な舞台美術は、第1弾・第2弾で観客や演劇関係者を大いに驚かせました。今回も高校生から70代まで、職業も趣味もバラバラな32名が集結。10月から、毎週土日祝日、廃園になった旧呉羽幼稚園にて、自由参加で製作を行いました。稲田美智子、鈴木太朗、三井優子の熱意溢れる指導のもと、レベルの高い舞台美術を実現すべく、美術スタッフは貪欲に知識を吸収して難しい工具にも挑戦しました。また、オール富山過去2作品に市民として参加した内山勇が美術リーダーとなり、技術や知識はさることながら、その人柄で美術スタッフを支えてくれました。ひとりひとりが仕事や家庭のある中で精一杯かわかり、「ニューマドンナ」の舞台美術は立ち上がりました。細部までこだわった舞台美術、どうぞ注目ください。

photo：空耳カメラ



美術 稲田美智子 Michiko Inada



長崎県出身。早稲田大学第一文学部、美術史学専修卒業。在学中に演劇、舞台美術に出会い、学内外の劇団の美術を始める。卒業後はフリーの舞台美術家として、小劇場を中心に様々な団体の舞台美術を担当。近年の主な参加作品は「秘密の花園」(唐十郎 作、福原充則 演出)、「アスファルト・キス」(フランコ・フィギュレド+古城十忍 演出)等。タノノ作品には、2013年『大きなトランクの中の箱』、2015年『地獄谷温泉 無明ノ宿』に舞台美術プランナーとして参加。オール富山 第1弾『ダークマスター 2019 TOYAMA』、第2弾『笑顔の皆'20帰郷』でも美術プランおよび製作指導を務めた。

美術製作指導(道具) 鈴木太朗 Taro Suzuki



神奈川県出身。木工のものづくりに興味をもち、什器や家具、TVセット等を製作する会社にて木工の基礎を学ぶ。その後、舞台装置製作会社にて大道具など、数多く舞台装置を手掛ける。近年では自ら【箱馬倶楽部】を立ち上げ、大道具や小道具などを製作する。タノノ作品では「虹む街の果て」舞台セット製作。2012年箱馬倶楽部オンラインショップ開業、2017年より劇団阿佐ヶ谷スパイダースに参加、2020年YouTube箱馬倶楽部チャンネルを開設、2021年より日本大学芸術学部非常勤講師を務める。

美術製作指導(背景) 三井優子 Yuko Mitsui



東京都出身。早稲田大学第一文学部卒業。在学中より演劇公演に携われるようになり、卒業後は舞台美術を中心に大道具、背景としても活動。好きな作業は植栽飾り。近年の主な参加作品は「15 Minutes Made in 本多劇場」、演劇ユニットろりえ全作品、市川学園中学演劇ワークショップ公演(製作指導)等。

photo：イマデラガク

美術製作リーダー 内山勇 Isamu Uchiyama



富山市在住。交友関係を広げたいとオール富山企画の第1弾から美術製作に参加し、今回初めてリーダーとなる。美術製作スタッフチームから頼られ、慕われる存在。



演出部

演出助手 柿本弘一 Koichi Kakimoto



1971年生まれ。魚津市在住。近年の出演は、カラーレドドラマキッズ、劇団フロンティア。その他、コンテンポラリーダンス作品への参加など。タノノクロウ×オール富山へは、「ダークマスター 2019 TOYAMA」「笑顔の皆'20帰郷」に引き続き三度目の参加。

演出助手 木本千晴 Chiharu Kimoto



俳優。黒部市出身。カラーレドドラマキッズを経て舞台芸術学院で幅広い表現方法を学ぶ。卒業後は舞台、ドラマ、映画と幅広く活躍。近年では文化庁巡回ミュージカル「ピーターパンとウエンディ」ティンカーベル役「シンドバットの冒険」ターリャ役で出演。TVドラマ「それってバクリじゃないですか」レギュラー出演など。

演出部 浦田貴子 Takako Urata



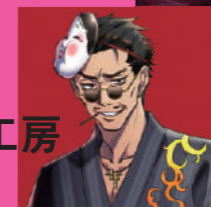
1968年生まれ。滑川市出身。社会人となってから観劇が趣味となり、舞台づくりに携われる喜びを感じている。タノノクロウ×オール富山には「笑顔の皆'20帰郷」に続き、演出部として2度目の参加。

ユカの配信サポートチーム

photo：空耳カメラ



映像制作 Digital Atelier夏灯工房 Natto Kobo



富山県で活動する映像クリエイターおよびイベントプランナー。2020年開催のVTuberイベント「ぶいっと」は総視聴者数3万人、クラウドファンディングでは520万円の支援を集めた。2021年6月より映像クリエイターとして活動を開始し、現在の総制作数は200本を超える。2023年には国の登録有形文化財である下山芸術の森発電所美術館にて音楽×VTuberの展示「Parallelscape」を開催し、広報および全ての映像制作を担当。

イラストレーター 三ツ川ミツ Mitsu Mitsukawa



VTuberになりたい方に向けてLive2Dアバターを制作。イラストからモデリングまで単独で手がけ、少女からおじさんまで幅広いキャラクターを描く。

コスプレアドバイザー 87かぼちゃ Hana Kabocha



SNS総フォロワー数70万人越。多くのSNSを駆使してコスプレや動画投稿を続けるインフルエンサー。北陸を拠点に関東や関西、沖縄など県内外幅広い場所でイベント出演、MC、動画撮影、コスプレアドバイザーなどマルチに活動。



地域に開く オール富山

飲食コラボ

オール富山×カンパーニュ

コラボパン

つなぐ
Peace3

カンパーニュ
富山市呉羽町1818-15
営業時間 7:00~19:00
定休日 日・月曜日



photo: イマテラガク

劇場
ロビーで
販売!

オール富山×野口屋

コラボ菓子

富どら

野口屋
富山市呉羽姫本町1812
営業時間 8:00~18:00
定休日 火曜日



photo: イマテラガク

劇場
ロビーで
販売!

これまでのオール富山

「タニノクロウ×オール富山」とは、劇作家・演出家のタニノクロウが故郷の富山に単身で滞在し、経験不問の一般公募で集まった市民と共に演劇作品をつくりあげるプロジェクトです。企画制作を行うオーバード・ホールは、劇場や演劇に普段接点のない人を含むさまざまな市民や地域と“つながる”ことをミッションに掲げており、その象徴的なプロジェクトとして、2019年に第1弾『ダークマスター』、2020年の第2弾では『笑顔の砦』といずれもタニノの代表作を富山版としてリメイクしました。富山弁の台詞、見覚えのある風景が立ち上がり「自分たちの街の物語」として記憶に残るものとなりました。「オール富山」企画は、今回で3回目を迎えます。質の高い演劇作品を上演することはもちろんのこと、製作の過程で、富山に暮らす多様な立場のひとや企業・団体とつながり、100年先の富山の未来を見据えて、さらに地域に劇場を開いていきます。



オール富山×タウザー

リアル『マドンナ』(2023/12/2-9-16)

街中にスナック「マドンナ」が出現した3日間、『ニューマドンナ』キャスト・スタッフが皆様をお迎えしてお客様と楽しく交流しました。



オール富山×支援施設「志貴野苑」

劇中スナック『マドンナ』コースター

劇中に登場するスナック「マドンナ」で使用するコースターを制作していただきました。このコースターは、「リアルマドンナ」でも使用しました。



美術製作の作業場公開(見学説明会)

『ニューマドンナ』では廃園となった幼稚園舎(旧呉羽幼稚園)を、美術製作の作業場として活用させていただきました。普段劇場や演劇と接点のない方々ともつながりたいという思いから、園舎のある町内の方はじめ地域の方々や商店・地元企業の方々に向け、製作現場の見学説明会を随時行いました。作業場には第1弾・第2弾の展示室もつくり、自由に見学していただいたり、お手伝いしてくださる方には、釘打ちや塗装などを体験していただきました。



オール富山×富山ステーションシティ

(MARROOT・マリエ富山・とやマルシェ)

『ニューマドンナ』公式オフ会

終演後に、軽食を食べながら感想をお喋りする楽しみ方をご提案します。オフ会冒頭では、タニノクロウによるトークを予定しています。



1月27日(土) 20:30開始
場所: TEJIKAEEN 富山駅ナカ店
(富山市明輪街1-90とやマルシェのれん横丁内)
定員: 限定30名様

オール富山×富山経済同友会

「地域における公共文化施設の役割」を富山県内企業経営者の視点で考えるプログラム。初年度となる2023年度には「タニノクロウ×オール富山」プロジェクトを取り上げていただきました。昨年7月に開館した中ホールのバックステージ見学や、タニノクロウ氏による講演会の開催、



美術作業場や稽古場見学を行いました。ファシリテーターを交えての意見交換会では、経営者ならではの意見をいただくことができました。

第1弾 ダークマスター 2019 TOYAMA

2019.3.7(木)~10(日) 全5回公演
オーバード・ホール 舞台上特設シアター



記念すべき第1弾は狩撫麻礼の短編漫画を原作にしたタニノの代表作。初演から根強い人気を誇る。物語の舞台を富山に移して脚本を書き下ろした。

キャスト: 六渡達郎、善雄善雄、古池大地、結城まゆみ、瀬戸ゆりか、坂本好信、石川雄士、大野貴市、柿本弘一、佐藤潤子、ノジダイスケ、森田翠、元井康平
美術製作公募スタッフ: 26名



photo: Hirokazu Takayama

第2弾 笑顔の砦'20 帰郷

2020.12.2(水)~6(日) 全6回公演
オーバード・ホール 舞台上特設シアター



第2弾はタニノの処女戯曲で2008年に岸田國士戯曲賞にノミネートされた作品を富山版に書き換えて上演。俳優・緒方晋を特別出演に迎え、コロナ禍の中、キャスト・スタッフの強い信念のもと公演を成功させた。

キャスト: 緒方晋(特別出演)、山崎広介、谷屋桃威、中尾慎一、坂井宏彰、和田彩花、森良子、柿本弘一、石川雄士、仲悟志
美術製作公募スタッフ: 20名





photo: 六波達郎



KURO TANINO
× ALL TOYAMA 3rd stage

